

# いっぽだより



はじめのいっぽ弥生  
平成27年10月

## <食育編>

**春** 畑を耕し、ミミズや虫達との出会いにワアワア、キャーキャー言いながら、大豆やカボチャ、トウキビなどをまき、様々な野菜の苗を植えました。

**夏** 雨不足が続き、「収穫できないのでは？」と不安な日々。それでも朝・夕と地道に水まきをしてくれたスタッフの努力が実り、ミニトマト、キュウリ、モロッコに枝豆…と、毎日新鮮なもぎたて野菜をいただくことができました。

**秋** 遠い岩内の畑では、トウキビ約100本に、イモがコンテナに約3箱の収穫！その他に、石橋典之理事さん宅より、トウキビと枝豆をどっさりいただき、みんなで皮をむいたり枝豆の房をもぐなどの手指操作活動をたっぷり行いました。かまどに火をおこし、ゆでたて旬のおやつのは、格別でした！



収穫した新鮮な野菜たちを使って、ポテトサラダにポテトピザ、コロッケにコーンスープに豚汁、サツマイモは干し芋にして…。旬の食材の炭火焼きに、ほかほかおむすび…うーん、最高！等々、旬の食材で手作り料理を楽しめる子どもたちは、世界一幸せだと自負しております。

冬には仲間と協力し、漬物や味噌作りなど発酵食品に挑戦。まだまだ楽しみが続きます～す♪



### (影の声)

早い！安い！簡単！便利！見た目がきれい！…そんな加工食品には、食品添加物が多く使われています。それらが体にたまると、様々な病気のもとになります。新鮮な食材での手作り料理は、脳細胞に酸素などの栄養が回りやすく、集中力、記憶力、想像力などが育つそうです。

またテレビをつけっぱなしでの食事は、消化吸収の働きを悪くし、脳にも悪影響なので要注意！

## <生命の誕生>

9月～10月は、お友達の誕生日ラッシュです。出来る限り、一人ひとりの生まれた日にお誕生会をしてあげたいけれど、利用日やお休みなどの関係で、複数人のお友達と一緒に祝いすることもありますので、ご理解くださいね。



学校から帰ってきたお友達に「今日は〇〇ちゃんの誕生日だよ」と伝えると、自主的にケーキ作りの手伝いをする子、お手紙を書く子、折り紙でペンダントを作る子、絵入りのメッセージカードを作る子など、それぞれの熱い想いでプレゼント作りに取り組みます。みーんなみんながお友達を大切にすけなげな気持ち、心より祝福する感動的な姿には、胸を打たれます。

誕生会をするたびに思うのは、  
「そのまんまの〇〇ちゃんが好き！」  
「あなたは、この社会に必要とされて生まれてきたんだよ。あなたは人を幸せにする力を持っているんだよ」  
ということ。



「ありのままの自分が好き」と、胸を張って生きてほしいと願っています。



出来上がったプレゼントは、自分で手渡しをして、「おめでとう」と「ありがとう」をします。

「〇〇ちゃんのために…」真心を込めての制作は、手指操作を巧みにし、想像力を高めるだけでなく、心を育む大切な時間です。



♪お誕生会のしめくくりは、ハッピーバースデーの歌を口笛で披露してくれたKちゃん。その澄み切った音色は、天使のような響きを感じました。それまでおしゃべりをしていただけの子もじいっと聞き入り、その場にいた全員がうっとり、その響きに耳をかたむけるなど、とてもステキなひとときとなりました。

## <日々の様子>



雨が降っても大丈夫。カサをさして散歩に行こうよ♪雨の音も、音楽のように聴こえるよ。

「うしさん、おいで一」と言葉をかけると…わあ、本当に来たよ～！牛さんにも優しさが伝わるのかな？

「バスで一す！しゅっぱ一つ！」すっかり信頼関係ができたみんなで、一体感を持って遊ぶことを、心から楽しんでいます。



(おまけのーコマ)

いっぽに仲間入りしたばかりのKくん、「帰りたくないよ～！」と、玄関で精一杯の抵抗。お友達が帰る時は「〇〇ちゃあーん！」と悲しくて大泣きするほど、すっかりいっぽを大好きになってくれています。

## <親子でいっぽ>

心地よい天候の中、親子で緑ヶ丘公園を散策。一緒に歩きながら、お子さんがお友達と触れ合う姿や、自然の中でのびのびと過ごす姿を体感していただけたかと思います。



## <論語タイム>

論語タイムにて、背筋をしっかりと伸ばし正座になって「お願いします」「ありがとうございます」を習慣に。人として、短時間でも座って話を聞く力、道徳の心など、大切な何かを学んでいます。



## 社会福祉法人 佛子園（ぶっしえん）へ視察に行ってきました

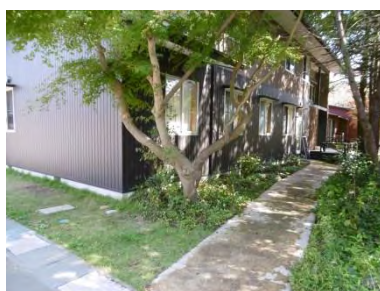
「佛子園」とは、石川県を拠点に障害者や高齢者、地域住民が分け隔てなく暮らせる街づくりを目指し、実践している社会福祉法人です。昨年、東京で行われた福祉の全国大会において雄谷理事長による講演を聴き、その考え方と実行力に感動！すぐに視察を申込み、今年9月に、約一年越しで実現することができました。

日程は9月27日（日）～29日（火）の三日間。先方で組んでいただいた予定に沿って、当事業所の理事およびスタッフの3名と、社会福祉法人ひまわりの理事長および常務理事の計5名で、一日2、3施設を目安に視察を行って参りました。

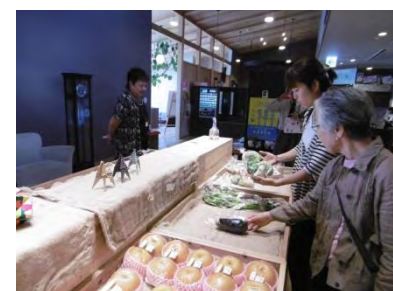
沢山ある施設の中でも印象深かったのが、「Share 金沢（シェアかなざわ）」です。

広大な敷地に子供、学生、高齢者、障害者の入居施設をはじめ、温泉やレストラン、クリーニング店、カフェ、アルパカ牧場などが混在し、一つの街となっていました。

地域住民も自由に温泉や食事を楽しみ、ウクレレ教室や料理教室も利用しています。障がいがあってもなくても、みんなが共存できる理想的な生活の場所となっていました。あまりにもスケールが大きくて、気が遠くなりそう…。



解放感のある建物には、カフェや料理教室、住人が共同経営する売店などが並ぶ。居住スペースは心地よい木陰の小道でつながっており、牧場の側では、アルパカが日向ぼっこをしていた。



温泉とレストランを備えた建物。第一印象は「おしゃれ！」とても福祉施設とは思えない。一般の人も多く訪れ、売店では地元産の野菜や手作り味噌、コスメなどの販売も行っていた。

さて、当事業所としてできることは何だろう？と改めて考えた時、目の前の待機児童が通所できる場所づくりを、早急に準備しよう！そして将来的には、何歳になっても自分の居場所があって、働く場所があって、人々が共に育ちあえるような空間作り…。そんないっぱいを目指し、今後も全力で取り組んでいきたい！と、大いに刺激を受けた三日間でした。